

80202自動車小売業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	西へ直進中、右折してきた対向車と接触した。	56	17	231	50 ~ 99
2	2017	12	13~14	正面入口前の歩道にて、歩道を暴走してきた普通乗用車にはねられ救急搬送された。	31	17	231	1~ 9
3	2017	12	11~12	工場内東側の換気扇の清掃中、脚立に乗っていてバランスを崩し転落し、左手首を骨折した。	57	1	371	10 ~ 29
4	2017	12	9~10	職場にて左手に水の入ったバケツを持ち、右手に脚立を持って前方に歩き出し、段差のある地面（2cm位）に右足の先端（つま先）をつまずいて前向きに転び、左足ひざおよび両肩を痛めた。	66	2	417	1~ 9
5	2017	12	11~12	当社サービス工場で、ステアリングユニットアームを外そうとした時に特殊工具が外れ、右ひざに工具が当たり、右ひざを負傷した。	21	4	169	30 ~ 49
6	2017	12	11~12	钣金塗装工場において、オーバースライダーの上部清掃のため、フォークリフトで足場をつくり、足場に昇るために2つ折りの脚立を伸ばした状態で使用していた。1ヶ所目の清掃が終わり、2カ所目の作業中に脚立を昇っている途中で、脚立のロックが外れ、脚立が二つに折れてしまい、そのまま地面に落下し倒	70	1	371	50 ~ 99

				れた。（脚立の使用向きが逆であったため、ロックピンに負荷が掛かり、ピンが破損してロックが外れてしまった。）				
7	2017	11	17～ 18	工場外にある、廃棄物置き場のコンテナが満杯になっていたの で、そのコンテナの上に登り片付けた後、降りる時に、高さ2m 位の所から飛び降り、右足かかとを骨折した。	41	3	391	1～ 9
8	2017	11	15～ 16	軽自動車の天井を脚立を使用し、拭き上げ作業中、脚立の脚が 折れ高さ約55cmから転落し、左肩を打撲した。（原因）脚立が 使い込まれており老朽化していたと思われる。	25	1	371	10 ～ 29
9	2017	11	10～ 11	弊社工場内において車両のエンジンオイルを交換する作業をし ている際、エンジンオイルを車両から抜くマシンを起動させる 為、電源プラグをコンセントにつなげようと2～3歩移動したと ころ、車両のタイヤをのせブレを計測するための器具を設置し ている段差（5cm程）に足を取られ、捻るような形で体勢を崩し た。その際、左足の甲を骨折したものである。	57	2	416	10 ～ 29
10	2017	11	10～ 11	物流センター敷地内にて、積載車で公道に出ようとした際、忘 れ物に気づき、積載車から降り事務所向かったところ、積載 車が動き出し、車両に戻ろうと走って行く途中転倒した。	62	2	417	10 ～ 29
11	2017	11	13～ 14	構内お客様駐車スペースでお客様の軽乗用車の後部荷物スペー スに軽乗用車用タイヤ（ホイール付・15kg前後のもの）を積み 込んだ時に、腰に強い痛みを生じた。その時は、痛みはあった ものの作業を中止しなければならない程とは思わなかったた め、上司には報告せず作業を続け退社後、医療機関を受診し た。	43	19	611	10 ～ 29
12	2017	11	9～ 10	当社において敷地内の除雪作業中、敷地面が降雪により滑り易 くなっていた為、足を滑らせ体のバランスを崩し転倒した際、 右腕が体の下になり負傷したものである。	49	2	719	30 ～ 49
13	2017	10	15～	トラクタの試運転準備でカプラを結合した後、プラットホーム	59	1	221	50 ～

			16	右側から降りる際、足が滑って落下し、腰から地面に落ちた。				99
14	2017	10	13～ 14	店内・サービス工場のトイレから出る時に、照明を消そうとして、左手のみトイレ内に残し、体は外に出た。その際、トイレの鉄扉が閉まり、左手中指を挟み負傷した。	47	7	418	10 ～ 29
15	2017	10	15～ 16	車内のサイドステップの取り外し作業をしていた。その際にサイドステップについている金具に気付かず左手甲をぶつけ切っ てしまった。	51	3	231	100 ～ 299
16	2017	10	9～ 10	車両積載車のドライバーとして就労している被災労働者が、事業場敷地内にある積載車駐車スペースにて、当該車両の上段に積載した車両に書類を置き忘れたことに気づき、当該箇所へ登ろうとしたところバランスを崩し、足から路上へ落下。左足首上部を骨折した。本来駐車スペースは作業をする場所ではないが作業効率アップのためにと当該者の判断により、当場所にて作業を行うことが日常的となっていて車両積載の当作業は当社は1人で行うものとしている。当時の天候は小雨であった。落下した、車両上段部は地面から1.7m程の高さである。	61	1	391	30 ～ 49
17	2017	10	11～ 12	店舗敷地内、立体駐車場前で車両に車検証を入れる為、車両を探し、駐車番号を確認後、振り返ったときに、後退してきた車輛（プリウス）と接触した。リアスポイラーと胸、リアバンパーと右膝があたり、当日は大したことないと思ったが、翌日になっても痛みがあった。胸部骨折と右膝関節捻挫と診断された。	37	18	231	10 ～ 29
18	2017	10	12～ 13	事業所内の洗車場で、整備のため車両から取り外したLPガス容器に、洗車ホースを使ってお湯をかけていたところ、抜き取りしていたLPガスに何らかの火が引火し爆発、火災が発生して顔と両手を受傷した。	26	14	513	10 ～ 29
			10～	物流センター事務所内で段ボール箱に書類を梱包する作業中、				1～

19	2017	10	11	箱の上面をカッターで切ったところ、誤って自身の左手親指付け根を切ってしまった。	22	8	379	9
20	2017	9	15～ 16	サービス工場にて、整備車両のオイルフィルターを取り外すため、工具を使って緩める作業をしていたところ、力を加えた際に誤って工具から手が離れて、エンジンルーム下部に左手を打ちつけた。	36	3	911	300 ～ 499
21	2017	9	10～ 11	朝、車両引き取りに行き、リヤバンパーを積み込もうとして後板を押し閉めるとき、左手の指が残っているにもかかわらず、右手で後板を閉めてしまい、挟んでしまった。	19	7	221	10 ～ 29
22	2017	9	10～ 11	会社の敷地内で自動車の納車点検を脚立に登っておこなっていた所、その脚立から足がすべって地面に落下した、全体重が右足にのったため、右踵骨を骨折した。	39	1	371	1～ 9
23	2017	9	18～ 19	乗用車の12ヶ月点検を行うため、車体を上げようとリフトのアームをジャッキアップポイントに載せようとした際、車高が低くアームが入らなかったため、車のフェンダー部分を持ち上げてアームを入れようとした際、想像以上に車が重かったため、腰に負担がかかり、腰を痛めたものである。	45	19	231	30 ～ 49
24	2017	9	11～ 12	トラックエンジンセミオーバーホール作業中、車両下部において、エンジンコンロッドを締めつけたところ、コンロッド取り付けナットからボックスが外れ、握っていたトルクレンチとともに勢いよく手がシャシーフレームの方向へ飛ばされ、フレームの間に右手薬指が挟まり受傷した。	32	7	364	30 ～ 49
25	2017	9	14～ 15	当社営業所洗車場前にて、脚立に乗って鉄くずクレーン車両の洗車作業を行っていたところ、左後部の洗車作業が終わり脚立から降りる際、足を踏み外して後ろ向きに転落した。転落する際、脚立を掴んでおり、脚立ごと一緒に後方へ倒れ、脚立が負傷者の上に乗ってしまい、倒れた際に腰と頭部を地面にぶつけ、頭部は着用していたヘルメットの後部調整ベルト部分が	53	1	371	50 ～ 99

				当たり、負傷した。				
26	2017	9	9～ 10	敷地内トラック陸送業務の為、工場内に大型車を停め運転席を正面にして後ろ向きで降車する際、左足をステップ置き、右足を運転席側からずらして次のステップへ移動させようとしたものの、足をひっかけてしまい、バランスを崩し1.5m位の高さ腰から地面に落下する。地面に強く打ちつけ身動きが取れず、救急車にて搬送し治療を受ける。意識は有り脳に異常などは見られなかったが、身動きが全く取れない為、そのまま入院になった。	47	1	221	50 ～ 99
27	2017	8	21～ 22	客宅に誕生日のお花を持って行った帰り道で、暗く狭い道だったため、道を踏み外して右側に転落し（高さ1.8m）、左足首を骨折した。	49	1	417	10 ～ 29
28	2017	8	10～ 11	得意先の車置場で廃車の引き取りの際、車を積んだ後に高さ1m程のサイドステップから飛び降りたときに、地面にあった石を踏んで転倒した。ちょうど石の上に降りたため、右足首を捻って転倒し、右足首を負傷した。	30	2	221	10 ～ 29
29	2017	8	13～ 14	工場にて自動車整備作業時、気持ちが悪くなり、3回嘔吐し、休憩していたが改善しないため病院にて受診し帰宅したが、夜になっても気持ちが悪いのが続くため、緊急で病院を受診し入院した。	22	11	715	10 ～ 29
30	2017	8	10～ 11	整備工場内にて、車のタイミングベルト交換作業中、タイミングベルトを左手で固定したままの体勢で右斜めうしろの地面に置いてある工具を取ろうとした。右腕をうしろ下方向に伸ばし、少しのけぞる形になってしまったため、足と腕のバランスを崩し転倒した。その際右手の甲から地面に着いてしまい骨折した。無理な体勢で工具を取ろうとしたことが今回の事故の原因である。	21	2	417	50 ～ 99
				車検整備中リフトアップした車両に乗り込み車両から降りる際				

31	2017	8	11~ 12	にリフトのアームに足が引っ掛かり転倒、左手で床につき左手親指を骨折した。リフトを十分下段まで、下げずに少し上った状態で乗り降りした為転倒した。	20	2	214	10 ~ 29
32	2017	8	19~ 20	工場内で、帰宅する前の工場の後片付作業中に、以前クレームで交換した運転席用と助手席用エアバッグ各1個合計2個を産業廃棄物として業者に後日引き渡すため、展開処理を行うこととなった。処理の準備をした複数の社員は過去の展開作業の記憶に頼り、整備マニュアルの展開手順を確認せず、またその知識、威力及び安全に対する認識が欠如したまま準備を進め、よりによってタイヤの上に別の社員を座らせ、運転席のエアバッグ展開作業を怪我なく完了した。2回目に助手席分の処理準備を1回目と同様に行い、1回目とは別の社員が座り展開を実施したところ、風圧で飛び上がり落下する際に受け身が取れず、左手及び頭等を床に打ち付け鼻血が出たので救急車を呼び病院へ搬送され入院となった。	34	3	391	10 ~ 29
33	2017	7	11~12	整備工場内のタイヤチェンジャーを使い、ホイールからタイヤを外す作業において、劣化の激しいタイヤが硬く、ドートブレイカーの力がうまく伝わらずにホイールが逃げてしまうので、やむなく右膝をタイヤホイールに押しつけて外す作業を複数回行い、右膝を傷めた。	38	19	911	1~ 9
34	2017	7	17~18	事業場にてタイヤ部品を加工中、部品が外れて顔面に当たった。	67	15	519	30 ~ 49
35	2017	7	15~16	洗車場において、バックで洗車場から移動する車輛を誘導していたところ、躓いて転倒し、体をかばうため、右手で床を強く打ち、負傷した。	63	2	417	10 ~ 29
				左リヤ前輪トルクロッド取付時の際、取付ボルトの位置を合				30

36	2017	7	22~23	わせるため、左前輪タイヤの下にジャッキを入れ高さを調整し取付ボルトを入れる時にタイヤの下のジャッキが外れ、左前輪の位置が下がり左手の指が挟まれた。	21	7	363	~ 49
37	2017	7	16~17	磨き作業場にて車両の高さ約190cmのミニバン。脚立の高さ約150cmの上でルーフ磨き作業中脚立が後方に倒れ落下。左足踵骨折。	57	1	371	~ 29
38	2017	7	8~9	倉庫地内に於いて、レッカー車から切り離れた被牽引車両の前部から、連結部品（アタッチメント）を取り外そうとした際、当該部品が左手親指上に落下し負傷したもの。	45	4	379	~ 49
39	2017	7	17~18	店舗中2階のサービス事務所から1階ショールームに通じる階段において2階から1階に下る際に最後の1段を右斜めに左足をついたために左膝をひねり受傷した。	40	3	417	~ 29
40	2017	7	10~11	車のルーフの汚れ落としの作業をしているときに脚立を使い作業をしていたが降りる際に足を踏み外し転倒し負傷した。	53	1	371	~ 49
41	2017	7	21~22	駐車場でローダーにのせた車をおろそうとローダーの後ろにあるアオリ（囲い）をおろしアオリに足をかけた時、右足の筋を伸ばしてしまった。検査をしたところ靭帯に損傷があると診断された。	35	19	921	~ 49
42	2017	7	18~19	店舗敷地内の駐車場付近において、整備工場外に止めてあった原動機付スクーターを工場内へしまうため、走行させたところ工場横の浄化分離槽のマンホールでスリップし転倒、右肩を脱臼した。	42	2	231	~ 29
43	2017	7	11~12	トンネル内で走行中、脇見運転してしまいセンターラインをはみ出し対向車と正面衝突した。	21	17	221	1~ 9
				一般工場の下降式フロアピット内で、ミッション交換の際、取り外したミッションを専用ジャッキに乗せて移動し、車両前方				100

44	2017	7	10~11	の階段部分から出そうとしたところ、ジャッキのキャスターが階段部分の隙間に落ちてバランスが崩れ、ジャッキを支えていた左手人差し指の上にミッションが落下し、骨折を負った。	24	4	612	~ 299
45	2017	7	14~15	勤務先の自動車整備工場内で、車両の検査業務をしている時に、一旦、車両から離れて戻ると車両が前進していた（シフトをN：ニュートラルに入れたつもりが誤ってD：ドライブに入れていたため）。咄嗟に車両を止めようとして、車両と壁の間に挟まれてしまい、右ひざを負傷したもの。	31	7	231	1~ 9
46	2017	7	16~17	3階駐車場に車両を駐車し、徒歩で斜路を下った際、雨で濡れていた場所で滑ってしまい転倒。その際に左足首を捻り、亀裂骨折となる。	61	2	719	30 ~ 49
47	2017	6	7~8	納車のため積載車助手席に搭乗し、トンネルを走行中、前方トラックに追突して横転し、負傷した。	26	6	221	30 ~ 49
48	2017	6	13~ 14	工場内で、ブレーキランプの交換作業中に、新しいランプを取り付けようとしたところ力を入れ過ぎ、ランプが割れ、破片が右手掌に刺さり負傷した。	48	8	529	10 ~ 29
49	2017	6	18~ 19	当社店内で、受け入れた派遣労働者が、自動車の後輪タイヤを取り外し、ハブベアリングを引き抜く作業をスライディングハンマー（重さ約5kg）を使用して行った時に、ハンマーを握っていた右手の小指を、ハンマーとグリップのつばの部分の間に挟んで骨折した。	47	7	364	10 ~ 29
50	2017	6	0~1	荷物置場で解体車両をクレーンで積み込む作業をしていた時のことである。車を2m程度吊り上げて、車の下にワイヤーを通すため車の下に入っていた時、ワイヤーが切れてしまい、解体車両が落下して接触した。（脊髄損傷他、骨折多数）	59	4	212	30 ~ 49
				トラック陸送業務中、納車先に大型車を止め、運転席から降りる際にステップに足を引っ掛けてしまい、頭から地面に落ち				

51	2017	6	16～ 17	た。反動で左足も地面に強く打ちつけ、かかとの骨が折れた。救急車で病院に搬送されたが、意識はあり、脳に異常などは見られなかった。翌日病院でCT等の検査を行い、右足の骨折が判明した。	46	1	221	30 ～ 49
52	2017	6	12～ 13	信号のある交差点での衝突だったが、記憶がないため、こちら側の信号が青だったか赤だったかは不明となる。こちらの車は縁石を乗り越えて停止し、相手の車はポールに当たって横転した。勤務時間中に営業活動をしている時に起こったものである。	23	17	231	10 ～ 29
53	2017	6	10～ 11	会社の工場でバケツを両手に持ち歩行していたところ、急性腰痛症が発症した。	20	19	611	10 ～ 29
54	2017	6	16～ 17	タイヤ整理時に、タイヤを持とうとしたところ、右肩より「グキ」と音がして、その後、力が入らなくなった。	57	19	921	1～ 9
55	2017	5	15～ 16	スロープの所で車を誘導中、足を踏み外し約1m50cm下に落下した。	61	1	419	1～ 9
56	2017	4	14～ 15	お客様の自宅付近の上り坂にて、積載車にて移動した車両を降ろす際に車両止めやフックを外し、荷台を下げた際に車両が荷台からずれ落ちたとき、荷台に手を置いた場所へ車両の右前タイヤが当たり（挟まり）負傷した。	53	7	231	100 ～ 299
57	2017	4	14～ 15	事業場内整備工場にて、車両のリアマフラーインシュレーター交換作業中、床に置いていた部品を取り立ち上がった時に、使用中の作業用支持ポールが視界に入っておらず右目にぶつけてしまった。	57	3	391	1～ 9
58	2017	4	14～ 15	自動車整備中、力を入れてボルトを回そうとした際に手が滑り、右手を鉄板にぶつけた。	33	3	364	1～ 9
				構内で車の清掃作業中に運転席側のマットをめくり、フロアの				

59	2017	4	14~ 15	右隅を右手首を曲げて掃除機をかけていた時に、手首をひねった感じになり、ぎくっとなった。痛みを感じていたが、段々と痛みがひどくなり、車のキーを普通に回すことができないほどになった。	48	19	911	10 ~ 29
60	2017	4	15~ 16	構内洗車場付近のゴミを片付けようと移動中につまずき、地面に左膝から転倒した。左膝に若干の違和感を感じたが痛みも弱く歩行もできたため、定時まで勤務を続け帰宅した。その後、患部がひどく腫れ、膝を曲げるのがつらくなった。	57	2	419	100 ~ 299
61	2017	4	10~ 11	修理用4t車のキャブ事故車両に雨水が入らないようブルーシートがかけてあった。ブルーシートが外れかけていた為、3人でシートのかけ直しを行っていた際、キャブ上部の鉄板が曲がってシートがうまく張れなかった為、脚立4段目に足をかけてその状態で鉄板を曲げていたところ、不安定な状態となり転倒しそうになった為そこから飛び降りて受傷した。	58	3	417	30 ~ 49
62	2017	4	17~ 18	工場内で車の整備中、車にナンバーを取り付ける際に、部品をジャッキの上に載せようと持ち上げようとして体勢をくずし、右足首を捻挫した。	28	19	611	1~ 9
63	2017	3	10~11	展示している車の拭き掃除を他の従業員と一緒にいたところ、他の従業員が被災従業員がいるのに気付かず、開いていた車のドアを閉めたため、右手の第4指と第5指を挟んだ。	47	7	231	10 ~ 29
64	2017	3	12~13	工場内の洗車場で、点検整備車両の車内を掃除し、前かがみの姿勢から起き上がる時、腰を痛めた。	34	19	921	10 ~ 29
65	2017	3	13~14	当社内において、お客様の大型車両（トラクタタイプ）の洗車作業を行っていた。作業のため車両の荷台のプラットホームに乗っており、車両が濡れている状態で、別の場所に移動しようとした際、足を滑らせ落下した。落下の際、車両の隙間に足を引っ掛けて肩から落下し、左肩・右足・背中を負傷した。	58	1	221	300 ~ 499

66	2017	3	16~17	当社店舗の洗車場において、洗車作業の為、脚立に乗って車のルーフ部分を洗い、下りようとした際に誤って脚立の階段を踏み外し、高さ40cm位から転落し、脊柱を圧迫骨折、腰部を打撲した。	61	1	371	1~9
67	2017	2	10~11	洗車ラインにて新車の拭き上げ作業中フロントガラス内側を拭いている時、インナーミラーで死角にありスマートアシストセンサーがあるのに気付かず拭き上げしようとしたため右手が当たり中指を骨折した。	61	3	231	10~29
68	2017	2	17~18	当社への店舗間を移動している際、床で足を滑らせ転倒し、展示場の支柱に左足を打ちつけ骨折してしまった。	45	2	417	—
69	2017	2	19~20	帰りの戸締まりをし、第二工場から歩いて出ようとしたところ、タイルが濡れていた為滑り転んでしまった。脇のアスファルトの部分で止まったが、その為に左足に圧力が掛かり脛の骨が折れて負傷した。	42	2	417	30~49
70	2017	2	17~18	店舗内にて二輪車整備をしている際、誤ってリアホイール及びチェーンが回転しているにもかかわらず、チェーン清掃作業を続けたことにより、手を巻き込み、チェーンおよびsprocket（ギア）に指（左手）を挟んだ。	20	7	121	1~9
71	2017	2	9~10	除雪のために長靴を自分の車に取りに行く途中、会社敷地内の凍結した路面で転倒し頭部と腰部を打撲した。	35	2	719	10~29
72	2017	1	12~13	店舗工場において、車両の変速機の交換作業中、足元を滑らせバランスを崩した事から、車両より取り外した変速機に誤って触れたため、左足すね部分に変速機が落下し受傷した。	41	4	521	—
73	2017	1	17~18	本社から、当社前交差点を挟んで斜め向いにある当社展示場へ、展示場に掲げてあった営業用旗を取り外すため、交差点の横断歩道を渡っていたところ、交差点を右折してきた車両には	28	6	231	1~9

				ねられ腰部を骨折した。				
74	2017	1	9～ 10	店内の車両展示場にて、4段脚立にのって展示場内風景の写真を撮影中、4段脚立より転落した。なお、お客様への提案書類として活用するため、撮影を行っていた。	52	1	371	100 ～ 299
75	2017	1	9～ 10	レッカーにて搬入された自走不能の大型4軸車両を工場内の整備ベイへ入れるため、約15人の作業員で車両を押していた。その際、車両右側1軸目と2軸目の間で車両を押していた作業員の足が、2軸目の車輪に巻き込まれ転倒し、車輪に足を轢かれた。	27	7	221	50 ～ 99
76	2017	1	9～ 10	修理で引き取りした大型車を駐車して降車し、ドアを閉める時、足元が路面凍結していたため踏ん張りが効かず、滑って腰から転倒した。	68	2	417	50 ～ 99
77	2016	12	16～ 17	新車の納車準備で、車両の屋根を、脚立に登って払って降りる際、右足を滑らせ落下。	64	1	371	300 ～ 499
78	2016	12	14～ 15	敷地内にて、トラックのユニック部分の修理を脚立に乗って行っていたところ、被災者のスイッチの誤操作により、ユニックの格納部分が急に動いてしまい、右顔面に当たり、脚立から転落して後頭部を強打した。	57	1	371	1～ 9
79	2016	12	17～ 18	感謝祭のイベントで使用したテントを撤去する際、腰を痛めた。	50	19	611	1～ 9
80	2016	12	16～ 17	敷地内の整備ピットに置いてあるダンボールにつまずいて転倒。右肘を強打した。	31	2	611	1～ 9
81	2016	12	15～ 16	工場内で、トラックの後輪外側ナットを増し締めしている時、トルクレンチのラチェットが空回りし、工具を持っていた左手が、体重がかかったまま左足くるぶし付近に当たり、左足首が内側にねじれた。	27	6	364	50 ～ 99
82	2016	12	15～	地下駐車場でバイクの試運転中、駐車場の床がぬれていた為	49	2	417	1～

			16	に、ブレーキをかけた際、スリップ横転し、骨折した。				9
83	2016	11	10～ 11	工場内で内装工程作業にて右足を車両内、左足を車外での体勢でシフトノブを清掃中、車両が動き出し、止めようとしたところ無理な体勢を取ったため右足を骨折した。	51	19	231	30 ～ 49
84	2016	11	12～ 13	客宅にて契約書を記入中、正座をしていた所足がしびれた為、あぐらを組ませていただく際に左にあった柱に左足をぶつけた。	35	3	921	1～ 9
85	2016	11	11～ 12	構内においてダンプカーのボデー内側の状況を確認するため、当該ダンプカーのボデーに上っていた。床鉄板を確認した後、サイドバンパーから飛び降りたが、着地を誤り、腰部に大きな負荷がかかったことにより腰椎圧迫骨折となった。	48	3	221	50 ～ 99
86	2016	11	12～ 13	展示用の車輛を持ち込み、駐車場にてローダー車から車輛を降ろすために後部アオリを操作したが不安定な姿勢だったために右足の上にアオリが落ち負傷した。	45	4	221	30 ～ 49
87	2016	11	9～ 10	サービス工場の電動シャッター上部に鳩が巣を作り、車両への糞による被害が発生した為、2名で2段梯子を使用し除去作業をしていた最中、梯子を支えていたスタッフが梯子の上で作業をしていた被災者より鳩の巣を手渡され、その巣を処分する為にその場を離れた後、被災者が梯子の上でバランスを崩し、梯子が床の接地面から滑り、落下しケガをした。	48	1	371	10 ～ 29
88	2016	11	11～ 12	木造住宅解体現場にて、分別作業をしている際、指導・注意を何度か受けたが理解できず、分別しきれていなかった為ヘルメット越しに2度叩かれた。	57	90	921	30 ～ 49
89	2016	11	16～ 17	来客者へドリンクを運ぶ際、混み合った店内を小走りで移動中、左足首を捻り負傷。	31	19	921	10 ～ 29
				ショールーム裏口より歩行中、氷表面にて足を滑らせ、転倒				50

90	2016	11	8～9	し、足首を脱臼・骨折した。	56	2	719	～ 99
91	2016	10	15～ 16	大型車のオーバーヒート症状確認のため、客の車両に同乗しテスト。登坂車線走行中、ヒート気味になったため待避所に車両を停めて点検。ラジエーターサブタンクから吹き返しを点検するためにラジエーターキャップのボタンを押して、サブタンク内の水面が下がったのを確認して、ウエスを当てゆっくりキャップを開けたところ、冷却水が吹き出そうとしたため、あわてて両手で押さえたため受傷した。	28	11	231	10 ～ 29
92	2016	10	11～ 12	客先構内において、引取車両を車載車に積み込む作業を行っていた。引取車両の車載車への積み込み完了後、引取車両から降車する際、一挙に地面に飛び降りたところ、車載車のサイドアオリで右肘を強打した。	67	3	221	50 ～ 99
93	2016	10	16～ 17	店舗工場内で点検作業でタイヤを取り外す作業中に長さ10cmの鉄製の工具をインパクトに取り付ける際に歩きながら行っていたが、手から滑り落ち床に落ちた瞬時に踏みつけてしまい骨折をした。	38	9	521	10 ～ 29
94	2016	10	15～ 16	高速道路を走行中、出口方面の車線へ変更し、走行していたところ、後方より追突された。	67	17	231	10 ～ 29
95	2016	10	16～ 17	作業場にて、エアコンガス点検終了後、エアコンガス充填機を移動していたところ、段差を乗り越えられずエアコンガス充填機が傾き、手で支えたが支えきれず足に倒れてしまった。	43	6	391	10 ～ 29
96	2016	10	16～ 17	勤務開始から3ヶ月間ハイヒールを履いての接客により、足の裏の痛みが出た。	36	19	418	10 ～ 29
				脇道でタイヤがバースした車輛を搬送車に積み込むため、スライダーを上げていたところ、少し坂になっていて、搬送車が後				

97	2016	10	14～ 15	ろにさがって来たため、とっさに右足でタイヤを止めようとしたところ、止まらずに右足が搬送車のタイヤの下敷きになり、右足の甲の部分を骨折した。	57	7	221	1～ 9
98	2016	9	8～9	自動車整備工場内で、車両検査室内に停車していた車両を搬出しようとして運転席へ向かうため、車両前方を通過するが、ピットの開口部があることを忘れてしまい、足を踏み外し転倒。ピットの淵に左脇腹を強打、そのままピット内へ落下した。	62	1	418	10 ～ 29
99	2016	9	10～ 11	ビル屋内駐車場で3階から4階へ車を移動させていたところ、カーブを曲がりきれず壁に激突。エアバッグが展開したため、驚いて車をバックさせたところ、そのまま駐車していた別車両にも衝突した。	62	3	231	100 ～ 299
100	2016	9	8～9	工場内でタイヤ交換のタイヤを荷台から降ろす時、不安定な体勢で降ろしたため腰を痛めた。	55	19	921	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。